

青森大学 社会学部

地域課題を解決し、 社会の未来をつくる自分に出会う

大学祭で社会学部の学生や教員の活動を紹介しました。



9月30日(土)、10月1日(日)の2日間で青大祭が開催されました。社会学部では、社会学部の紹介の他に、学生のゼミ活動での成果物や、卒業論文の中間報告の資料展示、来場した子どもむけに、青森大学のマスコット「あおりん」の塗り絵コーナーなどを設置しました。



その他にも、社会学部所属の先生方の研究内容の紹介や、来場した卒業生から在校生に向けてのメッセージを書いてもらうなど、卒業生とのつながりも感じられた2日間でした。たくさんのご来場、ありがとうございました。

～留学生へのインタビュー～ コミュニティ創生コース1年(青森キャンパス) リ カコウさん

私は大都市があまり好きではないので、自然に近い場所を選びました。当初は九州と北海道も考えましたが偶然青森ねぶた祭に関するニュースを見て、その後、ネットでも調べました。そのうえで青森大学には東京にもキャンパスがあり、入試も東京で受験することができることから、青森大学を選びました。



現在青森に来て約七か月が過ぎましたが先生や同級生はとてもやさしく、問題があるときはいつも手助けしてくれます。最初に感じた大学生活への不安はなくなりました。青森大学を選んでよかったと思っています。現在の目標は日本語の学習をしっかりと、専門科目で自分の満足のいく成績をとり、卒業後には東京で就職することです。将来、中国に帰国後は日本語関係の仕事に就きたいと思っています。

社会学部での活動の一部をご紹介します！

青森大学 社会学部 NEWS

Faculty of Sociology

05

ゼミ合同で調理実習を行いました！



10月23日(月)5限に1,2年生のうち、3つのゼミが交流を兼ねて合同で「調理実習」を行いました。各ゼミごとに自分たちでメニューを決め、分担しながら調理を行いました。メニューは「豚生姜焼き、ローストビーフ、きんぴらごぼう、白菜のミルフィーユ鍋、ポテトサラダ、せんべい汁、モンブラン」などでした。1年生の中には、4月から一人暮らしをはじめ半年ほどが経ち、だいぶ料理の腕前が上達した学生、また全く自炊をしたことのない学生など様々でしたが、お互いにサポートしあいながら、調理を通じて新たな友達関係作り楽しんでいる様子でした。完成した料理を、参加者全員で分け合いながら満面の笑顔で食べていました。

授業紹介

社会福祉コース：地域福祉と包括的支援体制Ⅱ



科目担当：高橋賢充先生

この科目は、社会福祉士国家試験の指定科目です。人は生まれてから一生を終える間に、様々な困難に出会います。すべての人が、住み慣れた街や地域で自分らしく生活することの重要性や、互いに支えあうことの大切さを学んでいます。身近な事例を通して「孤立」しがちな人の生活・生命のリスクに気づく方法、人と人・人と地域の社会資源を「つなぐ」システム・支援体制、ソーシャルワーカーの役割などについて、地域福祉の実際と理論を理解していきます。制度と地域の人たちの間に、縦の糸と横の糸を「紡ぎ」、一枚の布を織るようにネットワークをつくることの大切さを学習しています。